

# 水稲病害虫防除対策（斑点米カメムシ類）

## 1 斑点米カメムシ類

（出穂期前）

- （1）イネ科雑草は、カメムシの重要な発生源となります。イネ科雑草が出穂する前に畦畔や周辺の除草を徹底し、カメムシの密度を抑制しましょう。
- （2）水稲の出穂以降の畦畔除草は、カメムシを水田に追い込むことになるので、畦畔除草は出穂 10 日前までに終わらせましょう。
- （3）イネ科雑草やイヌホタルイ等のカヤツリグサ科雑草の穂は主要加害種であるアカスジカスミカメの産卵場所となるため、水田内の雑草管理を徹底してください。

（出穂期以降）

- （1）カメムシは、水稲が出穂すると水田に侵入するため、出穂の早い水田に加害が集中します。地域内で出穂の早い水田では、カメムシの侵入に注意し、出穂期以降に水田内でカメムシの発生が認められた場合は薬剤防除を行きましょう（表 1、3）。
- （2）散布剤による防除は、加害種がカスミカメムシ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）の場合は、乳熟期（出穂期の 7～10 日後）に 1 回、その 7 日後頃に 1 回の 2 回散布を基本とします。クモヘリカメムシの場合は、出穂期から穂揃期に 1 回、その 10 日後頃に 1 回の 2 回散布を基本とします。
- （3）水面施用剤を使用する場合は、穂揃期～乳熟期に湛水状態で散布し、7 日以上止水してください（表 2）。その後多発が予想される場合は、散布剤により追加防除を行きましょう。
- （4）水面施用剤はクモヘリカメムシ等の大型のカメムシに対しては防除効果が劣ることがあるので、液剤や粉剤を使用しましょう。

表 1 カメムシ類の防除薬剤（茎葉散布剤）

薬剤名	有効成分名	IRAC コード	使用時期 (収穫前日数)	使用濃度、10a 当たり使用量	本剤の使用 回数
アルバリン粉剤 D L	ジ ノ テ フ ラ ン	4 A	収穫 7 日前まで	3 kg	3 回以内
エクシードフロアブル	ス ル ホ キ サ フ ロ ル	4 C	収穫 7 日前まで	2,000 倍	3 回以内
キラップフロアブル	エ チ プ ロ ー ル	2 B	収穫 14 日前まで	1,000～2,000 倍	2 回以内
キラップ粉剤 D L	エ チ プ ロ ー ル	2 B	収穫 14 日前まで	3～4 kg	2 回以内
スタークル液剤 1 0	ジ ノ テ フ ラ ン	4 A	収穫 7 日前まで	1,000 倍	3 回以内
スタークル粉剤 D L	ジ ノ テ フ ラ ン	4 A	収穫 7 日前まで	3 kg	3 回以内
スミチオン乳剤	M E P	1 B	収穫 21 日前まで	1,000 倍	2 回以内
スミチオン粉剤 3 D L	M E P	1 B	収穫 21 日前まで	3～4 kg	2 回以内 (出穂前は 1 回)
ダントツフロアブル	ク ロ チ ア ニ ジ ン	4 A	収穫 7 日前まで	5,000 倍	3 回以内
ダントツ粉剤 D L	ク ロ チ ア ニ ジ ン	4 A	収穫 7 日前まで	3～4 kg	3 回以内

注 1) 液剤、乳剤、フロアブル剤は 10a 当たり 140～150L 散布する。

注 2) 使用回数はその剤の使用回数であり、使用する際には有効成分ごとの総使用回数を確認すること。

表2 カメムシ類の防除薬剤（水面施用剤）

薬剤名	有効成分名	IRAC コード	使用時期 (収穫前日数)	10a 当たり使用量	本剤の 使用回数
アルバリン粒剤	ジノテフラン	4 A	収穫7日前まで	3 kg	3回以内
キラップ粒剤	エチプロール	2 B	収穫14日前まで	3 kg	2回以内
スタークル粒剤	ジノテフラン	4 A	収穫7日前まで	3 kg	3回以内
ダントツ粒剤	クロチアニジン	4 A	収穫7日前まで	3～4 kg	3回以内

注) 使用回数はその剤の使用回数であり、使用する際には有効成分ごとの総使用回数を確認すること。

表3 カメムシ類の防除薬剤（無人航空機散布）

薬剤名	有効成分名	IRAC コード	使用時期 (収穫前日数)	使用濃度、10a 当たり使用量	本剤の使用 回数
エクシードフロアブル	スルホキサフロル	4 C	収穫7日前まで	16 倍 0.8L	3回以内
キラップフロアブル	エチプロール	2 B	収穫14日前まで	8～16 倍 0.8L	2回以内
スタークル液剤10	ジノテフラン	4 A	収穫7日前まで	8 倍 0.8L	3回以内
ダントツフロアブル	クロチアニジン	4 A	収穫7日前まで	24 倍 0.8L	3回以内
トレボンエアー	エトフェンプロックス	3 A	収穫14日前まで	8 倍 0.8L	3回以内

注) 使用回数はその剤の使用回数であり、使用する際には有効成分ごとの総使用回数を確認すること。

※農薬の登録内容については慎重に校閲していますが、登録内容の変更は随時行われています。また、同じ農薬名でも農薬会社によって登録内容が異なることがありますので、農林水産省のホームページ (<https://pesticide.maff.go.jp/>) 等で最新の登録内容を確認してください。（記載中の登録内容は令和6年7月1日現在）